

令和5年度 宝達小学校 学校経営方針(ビジョン)

- 1 教育目標 「主体的に学び、心豊かに逞しく生きる児童の育成」
校訓 ～よく考える子 おもいやりのある子 たくましくやりぬく子～
- 2 経営方針
「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「安心・安全な環境」「学校・家庭・地域の連携」の具体化を推進し、児童の成長がわかる学校をめざす。
- 3 本年度の重点
 - ・基礎基本の定着をもとに、主体的対話的で深い学びのある授業を展開し、確かな学力の定着を図る。→児童の学力等の向上がわかる学校
 - ・GIGAスクール構想への理解を一層深め、児童の学びを支援する環境の充実を図る。
→教師の指導力向上がわかる学校
 - ・働きやすさとやりがいを目指し、組織的に業務改善に取り組む。
→教師の組織力向上がわかる学校
- 4 具体的な取組
 - (1) 繋がりのある授業を通して、学ぶ楽しさを体感するとともに確かな学力の定着をめざす。
 - ・年間一人1回以上の研究授業を行い、授業力の向上を図る。
 - ・教科等の資質能力育成のために、ICT(電子黒板・Chromebook)の効果的活用を図る。
 - ・学びのルールを徹底する。(新「宝達っ子3か条」)
 - ・閉校の前に郷土の良さを再認識させ、その良さを外部に発信する活動を進める。
 - (2) 人とのかかわりを通して、心豊かな児童の育成をめざす。
 - ・つながり(児童、家庭、地域、教材)のある道徳の授業の工夫・改善を図る。
 - ・場に応じた挨拶を身に付けた児童を育成する。(「立ち止まり、相手の名前を呼んで挨拶をする」等)
 - ・「縦割り班活動」等を通して、全校児童の交流を積極的に進める。
 - ・「感想交流」を通して、正しい言葉を活用しながら他人と関わり合うことができる児童を育成する。
 - (3) 自分の健康に関心をもち、健やかな身体の育成をめざす。
 - ・児童の家庭生活の基本である「早寝、早起き、朝ごはん」を大切にする。
 - ・学校生活を通して、自分の健康に関心をもちさせる。
 - ・年間を通した体力づくりを実践する。
 - ・児童が「進んでしたくなる、やりたくなる」取組の企画や声かけに努める。
 - (4) 安心・安全な学習環境づくりをめざす。
 - ・防災訓練(自然災害、火災、原子力、弾道ミサイル、不審者対応等)を通して、児童の「自分の命は自分で守る」意識を高める。
 - ・各種対応訓練(食物アレルギー、心肺蘇生・AED等)を通して、教職員の危機管理能力の向上を図る。
 - ・いじめや不登校に対して、児童の実態把握をもとに、家庭と連携しながら個に応じた組織的対応を推進する。
 - ・PTAや地域、関係機関と連携した児童の見守り活動を推進する。
 - (5) 家庭・地域と連携し、協働する学校をめざす。
 - ・PTA総会等を通じて、本校の教育に対する説明及び結果責任を果たす。
 - ・家庭、地域へ積極的に情報を発信する。(各種おたより、メール、ホームページ等)
 - ・「マイ弁当の日」を設け、お手伝いや家庭の絆づくりを喚起する。
 - ・学校、家庭、地域を結ぶ「学校支援ボランティア」との連携を構築する。
 - ・閉校に向けた各種取組を地域と連携・協力しながら推進する。
 - (6) 組織的に業務改善に取り組む学校を目指す。
 - ・校務におけるICT活用を一層推進し、時間外勤務時間を縮小する。
 - ・校内OJTや研修会を通して、人材育成を図り、業務の平準化につなげる。